

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	水産流通基盤整備事業		
長崎県総合計画上の位置づけ	柱	2	力強い産業を育て、魅力あるしごとを生み出す
	基本戦略	3	環境変化に対応し、一次産業を活性化する
	施策	(2)	漁業所得の向上と持続可能な生産体制の整備
	事業群	③	生産・流通基盤の強化と漁村の賑わい創出に向けた浜の環境整備

作成年月日	令和5年11月27日		
事業所管	水産部 漁港計画	部 班 (内線)	漁港漁場課 2857
課(室)長名	本多 健一		

1. 事業の概要

事業概要	<事業の主な実施内容> 安全・安心な水産物の品質確保や衛生管理対策の高度化、流通機能の強化に資する岸壁等の整備を行う。																													
	<国の主な採択基準> ・計画事業費が一事業につき5億円を超えるもの。 ・第3種漁港又は第4種漁港であること。等																													
	<負担区分(%)>		<県費の継ぎ足し>																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>地元</th> <th>条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2/3</td> <td>28.734</td> <td>4.6</td> <td>県営本土・外郭</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>40</td> <td>10</td> <td>県営本土・係留</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>37.5</td> <td>12.5</td> <td>県営本土・輸送</td> </tr> <tr> <td>2/3</td> <td>3/12</td> <td>1/12</td> <td>県営本土・荷捌所</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	国	県	地元	条件	2/3	28.734	4.6	県営本土・外郭	50	40	10	県営本土・係留	50	37.5	12.5	県営本土・輸送	2/3	3/12	1/12	県営本土・荷捌所									☐ 有 ☒ 無
国	県	地元	条件																											
2/3	28.734	4.6	県営本土・外郭																											
50	40	10	県営本土・係留																											
50	37.5	12.5	県営本土・輸送																											
2/3	3/12	1/12	県営本土・荷捌所																											

3. 令和6年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	長崎地区	長崎市
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	国内水産物の持続的な利用と安全な水産物供給体制の整備 水産業の振興を核とした漁村の総合的な振興 資源管理型漁業・つくり育てる漁業への支援 水産物流通の効率化と一貫した品質管理 安全で快適な漁業地域の形成 生産労働効率化・近代化、担い手支援
---------	--

令和6年度新規要求箇所評価調書(水産流通基盤整備事業)

(ふりがな) 事業箇所名	市町村 名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R6)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R6)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)		地域の要望等		総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等					
							県債	一般財源						
ながさき 長崎	長崎市	県	R15	沖防波堤(改良) L=70m、南防波堤(改良) L=770m、 北防波堤(改良) L=425m、防波堤(改良) L=215m、 内防波堤(K)(改良) L=90m、内防波堤(L)(改良) L=100m、 <u>-10m岸壁(改良) L=10m、-6m岸壁(A) (改良)</u> L=520m、No.5浮棧橋(改良) N=1基、浮棧橋(C) (改良) N=1基、 <u>畝刈琴海線(改良) L=530m、畝刈時津線 (改良)</u> N=1式、流通センター N=1式 ※ 下線は現計画から継続	14,291,000	9,444,000	3,564,900	396,114	885,986	当漁港は、長崎市に位置する我が国最西端 の特定第3種漁港であり、陸揚額全国第5位 (令和元年度)を誇る、以西底曳網漁業、大中 型旋網漁業及び沖合・沿岸漁業の生産拠点の 役割を担っている。 また、近隣漁港の陸揚・準備機能を集約して おり、長崎圏域のほか、五島圏域や中国など 海外からも水産物が集まる流通拠点漁港とし ての役割を担っている。 長崎魚市場を防護する第一線防波堤である 沖防波堤及び南防波堤、北防波堤において、 最新の基準で安定性を照査した結果、安定性 を満たしていないことが判明したことから、防 波堤を改良し、流通拠点漁港としての機能を 維持する。 また、魚市場内の仲卸棟、関連棟、発送ター ミナルは点在しており、機能が分散するととも に、動線が輻輳しており、非効率な流通体制と なっていることから、「流通センター」として機能 集約及び機能再編を行う。 そのほか、養殖機能の強化を図るため、浮 棧橋に屋根を整備するとともに、漁業者の就 労環境改善を行うため、防風フェンスを整備す る。		【要望書の提出状況】 ・時期:令和4年10月 ・提出元:長崎市 ・提出先:長崎港湾漁港事務所長 ・要望内容:防風柵の設置 等		
				<測量及び試験費 N=1式> 沖防波堤(改良)、南防波堤(改良)、北防波堤(改 良)、防波堤(改良)、内防波堤(K)(改良)、内防 波堤(L)(改良)、No.5浮棧橋(改良)、浮棧橋(C) (改良)、流通センター <本工事> -10m岸壁(改良)、-6m岸壁(A)(改良)、畝刈琴海 線(改良)、畝刈時津線(改良)	852,000	438,000	245,300	76,716	91,984					
													費用便益比	B/C=1.35>1.00
合計					14,291,000	9,444,000	3,564,900	396,114	885,986					
					852,000	438,000	245,300	76,716	91,984					

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	水産生産基盤整備事業		
長崎県総合計画上の位置づけ	柱	2	力強い産業を育て、魅力あるしごとを生み出す
	基本戦略	3	環境変化に対応し、一次産業を活性化する
	施策	(2)	漁業所得の向上と持続可能な生産体制の整備
	事業群	③	生産・流通基盤の強化と漁村の賑わい創出に向けた浜の環境整備

作成年月日	令和5年11月27日		
事業所管	水産部 漁港計画	部 班 (内線)	漁港漁場課 2857
課(室)長名	本多 健一		

1. 事業の概要

事業概要

<事業の主な実施内容>

水産資源の増大及び水産物の生産機能の強化を図るために行う生産基盤の整備。

<国の主な採択基準>

・計画事業費が一事業につき3億円(漁港施設の整備が含まれる場合は5億円)を超えるもの。

・第1種漁港又は水産流通基盤整備事業を実施する漁港以外の第2種漁港、第3種漁港若しくは第4種漁港。等

<負担区分(%)>

国	県	地元	条件
50	40	10	県営本土・外郭
50	37.5	12.5	県営本土・係留

<県費の継ぎ足し>

☐ 有

☒ 無

3. 令和6年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	館浦地区	平戸市
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	国内水産物の持続的な利用と安全な水産物供給体制の整備 水産業の振興を核とした漁村の総合的な振興 資源管理型漁業・つくり育てる漁業への支援 水産物流通の効率化と一貫した品質管理 安全で快適な漁業地域の形成 生産労働効率化・近代化、担い手支援
---------	--

令和6年度新規要求箇所評価調書(水産生産基盤整備事業)

(ふりがな) 事業箇所名	市町村 名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R6)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R6)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等		総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等				
							県債	一般財源					
タチウラ 館浦	平戸市	県	R14	防波堤(改良) L=918m 護岸(改良) L=162m 浮棧橋 N=1基 岸壁(改良) L=123m 物揚場(改良) L=42m 突堤(改良) L=42m	4,800,000	2,400,000	1,708,400	189,850	501,750	館浦漁港は、属人陸揚金額約60億円と平戸圏域におけるまき網漁船の生産基地として非常に重要な役割を担っている。また、定置網漁業が盛んに行われており、しいら、いか、あじ類が主に陸揚げされている。しいらは圏域内の陸揚量の約40%を占めており、定置網の陸揚げ港としての役割を担っているが下記の課題を抱えている。 【課題】 ①既存の防波堤及び護岸において、近年の波浪の増大により安定性が不足し、また、越波などにより背後地での被害が発生している。なお、当漁港の主要な陸揚岸壁はL1地震動に対し施設の安定性が不足している。 ②定置網漁業用の潮位差に対応した準備休憩施設が不足しており漁業活動において重労働かつ危険な状態となっている。 ③まき網用レッコポートの出漁準備作業において、潮位差による高低差の中での作業を強いられており、危険を伴い、また、重労働となっている。 【対応】 ①既存の防波堤及び護岸などを改良することで災害に対する施設の機能強化を行い、背後地での被害を回避し漁業活動の停止等による損失の低減を図る。 ②～③浮棧橋の整備を行い作業の安全性向上と軽老化、作業効率向上を図る。	【要望書の提出状況】 ・時期:令和4年10月 ・提出元:平戸市 ・提出先:県北振興局長 ・要望内容:防波堤、護岸の改良 浮棧橋の新設 漁獲物運搬道路の整備 レッコポート停泊場所の整備	A	
				測量及び試験費 1式	100,000	50,000	34,800	3,950	11,250				
				費用便益比	B/C=2.33>1.00		負担割合	外郭 国:県:地元=50%:40%:10% 係留 国:県:地元=50%:37.5%:12.5%					
合計					4,800,000	2,400,000	1,708,400	189,850	501,750				
					100,000	50,000	34,800	3,950	11,250				

事業評価調書〔新規要求公共事業〕

<様式1>

評価対象事業名	農山漁村地域整備交付金（漁村再生交付金事業）		
長崎県総合計画上の位置づけ	柱	2	力強い産業を育て、魅力あるしごとを生み出す
	基本戦略	3	環境変化に対応し、一次産業を活性化する
	施策	(2)	漁業所得の向上と持続可能な生産体制の整備
	事業群	③	生産・流通基盤の強化と漁村の賑わい創出に向けた浜の環境整備

作成年月日	令和5年11月27日		
事業所管	水産部 漁港計画	部 班	漁港漁場 (内線) 2857 課
課(室)長名	本多 健一		

1. 事業の概要

事業概要	<事業の主な実施内容> 地域の既存ストックの有効活用等を通じた漁業生産基盤及び漁村の生活環境施設の総合的な整備を実施する事業。																														
	<国の主な採択基準> ・事業主体は、この事業で達成すべき目標及び達成状況を客観的に評価できる指標及び事業計画を定めた漁村再生計画を策定すること。 ・総事業費は100 百万円以上2,000 百万円以下。 等																														
	<負担区分(%)>		<県費の継ぎ足し>																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>地元</th> <th>条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50</td> <td>37.5</td> <td>12.5</td> <td>県営・本土</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>17.5</td> <td>32.5</td> <td>市町営・本土</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>10</td> <td>30</td> <td>市町営・離島</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	国	県	地元	条件	50	37.5	12.5	県営・本土	50	17.5	32.5	市町営・本土	60	10	30	市町営・離島													☐ 有 ☒ 無	
国	県	地元	条件																												
50	37.5	12.5	県営・本土																												
50	17.5	32.5	市町営・本土																												
60	10	30	市町営・離島																												

2. 新規要求における事業評価の視点

事業評価の視点	国内水産物の持続的な利用と安全な水産物供給体制の整備 水産業の振興を核とした漁村の総合的な振興 資源管理型漁業・つくり育てる漁業への支援 水産物流通の効率化と一貫した品質管理 安全で快適な漁業地域の形成 生産労働効率化・近代化、担い手支援
---------	--

3. 令和6年度新規要求箇所

no.	事業箇所名	市町村名
1	大三東地区	島原市
2	五島西地区	五島市
3	大村地区	大村市
4	有喜地区	諫早市
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

令和6年度新規要求箇所評価調書(農山漁村地域整備交付金(漁村再生交付金事業))

(ふりがな) 事業箇所名	市町村 名	事業 主体	事業 完了 予定 年度	事業概要 (上段:全体、下段:R6)	事業費(単位:千円) (上段:全体、下段:R6)					新規要望理由 (必要性、目的、効果、優先性、緊急性等)	地域の要望等		総合 評価
					事業費	国費	県費		市町村費等				
							県債	一般財源					
ゴトウニシ 五島西	五島市	五島市	R8	-3m岸壁 51m -3m泊地 850m2 用地 1,500m2	400,000	240,000	36,000	4,000	120,000	五島西漁港(貝津地区、嵯峨島地区、丹奈地区)は、登録漁船数51隻、年間漁獲量161トンの漁港で、刺網・一本釣り漁業等の沿岸漁業の基地であり、タイ類、ぶり等を毎年陸揚げしている。圏域内有数の陸揚量を誇る漁港であり、活魚や本土へ出荷する鮮魚等水産物生産の中核的な役割を担っており、長崎県下五島圏域総合水産基盤整備事業計画のなかで目標達成のための施策として拠点漁港等の生産・流通機能の強化を図る漁港としても位置付けられており、福江島北西部では、第2種三井楽漁港を補完する第1種漁港として、生産拠点漁港となり得るものである。 当漁港は、漁港整備長期計画に基づき整備を行い、平成29年度に現在の漁港形態が整ったものであるが、大型の漁船に対応する陸揚げ用係船岸が不足し滞船が生じている状況である。また、現在使用されている物揚場では運搬車両のUターン場所がなく、陸揚げ時の後退運搬により危険を生じ作業が非効率となっている。さらに、物揚場付近にある港内の浅瀬が、航行に影響を及ぼしており、乗り上げの被害も発生していることから、長年地元の懸念となっている。 これらの問題を同時に、かつ、より経済的に解決するため、今回、岩盤掘削を最小限に止め浅瀬部の埋立てにより大型漁船が常時接岸できる岸壁を整備、埋立用地は運搬車両のUターンスペースや駐車場、陸揚・出漁の準備場所、漁具置き場等に活用し、滞船の解消と航行の安全確保、漁業活動の安全性と利便性の改善を図り、漁業所得の向上に繋げたい。	【要望書の提出状況】 ・時期:令和4年4月 ・提出元:五島市 ・提出先:五島振興局長 ・要望内容:岸壁整備 浚渫 用地整備 等		A
				測量及び試験費 1式	26,000	15,600	2,300	300	7,800				
				費用便益比	B/C=1.26>1.00		負担割合	国:県:地元=60%:10%:30%					
おおみさき 大三東	島原市	市	R8	浮桟橋 1基 物揚場(改良)68m	310,000	155,000	48,800	5,450	100,750	大三東漁港は、島原半島の北東部に位置し、有明海を漁場としたノリ養殖、カゴ、投網漁業などを中心に漁業を営んでいる。 特にノリ養殖については、長崎県内の46.1%の水揚げがあり、島原市の特産であるノリ養殖産業を担う漁港となっている。 有明海特有の干満差が大きいことから、陸揚げ・準備などの作業効率が悪く、高齢者や女性の漁業従事者にとって重労働かつ危険性が伴っている。特に漁獲物の陸揚げについては、複数人や一定の時間を要し、重労働となっている。 このようなことから、浮体式係船岸等の設置により、労働環境の改善が図られ、安全で効率的な漁業活動が可能となる。	【要望書の提出状況】 ・時期:令和4年7月 ・提出元:島原市 ・提出先:島原振興局長 ・要望内容:浮桟橋整備 等		A
				測量及び試験費 1式	36,000	18,000	5,600	700	11,700				
				費用便益比	B/C=1.19>1.00		負担割合	国:県:地元=50%:17.5%:32.5%					
合計					1,810,000	945,000	319,270	63,480	482,250				
					130,000	67,600	21,400	7,400	33,600				